

Press Release

報道関係者各位

平成 20 年 2 月 18 日  
株式会社ユビテック  
(大証 HC 6662)

**ユビテック Web 2.0 ソリューション事業 第 2 弾**  
**イーラーニングと SNS が融合したシステムを開発**  
**～日本医師会治験促進センターが治験コーディネーターをはじめとする**  
**臨床試験に携わるスタッフのトレーニングに採用～**

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す、株式会社ユビテック(東京都品川区、代表取締役 荻野 司、以下「ユビテック」)は、社団法人日本医師会治験促進センター(東京都文京区、センター長 岩砂和雄、以下「治験促進センター」)が平成 20 年 2 月 15 日に開設した臨床試験のためのイーラーニングセンターのシステム開発を行いました。

イーラーニングはパソコンとインターネットにつながる環境さえあれば誰でも場所や時間を選ばず学習できるというメリットがある一方で、本人のやる気を引き出さなければ継続が難しいという課題がありました。今回治験促進センターが、治験に携わるスタッフの質の向上と維持のための教育にイーラーニングを利用することを検討した中でも、「継続と反復」の動機付けが一番のポイントとなりました。

そこで、今回ユビテックは学習を継続させるために「楽しく学べる」仕掛けを盛り込み、さらに、医療機関によっては、1-2 名単位で配置されることが少なくない、治験コーディネーター\*1の「横のつながりが持ちにくい」という悩みを解消するために Web2.0 の代表的な手法であり、ユビテックの得意とする SNS\*2(ソーシャルネットワーキングシステム)を組み合わせ「イーラーニングと SNS が融合したシステム」を提案し、採用されました。

2 月 15 日のグランドオープンに先駆けて昨年 11 月 28 日から 30 日にかけて開催された第 28 回日本臨床薬理学会年会の併設展示会場にて行われたデモンストレーション展示においては、「いつでも出来るのがよい」「面白い、楽しい」「予想以上に使いやすい」などの声が寄せられました。同時に「回答の正確性が重要」「他のイーラーニングを使っている回答についてこれは本当に正確か?と悩むことがある」などの意見も寄せられました。臨床試験の方法論や関連法規は変化し、法解釈によっては回答が一つではないというケースも発生するという問題があります。このような悩みも SNS の手法を取り入れることで利用者からの設問投稿や指摘を受け付けることで解決が図れます。また、それらのやりとりは、利用者すべてが情報共有できることから利用者内でも自由に意見交換する場を広げていくことが可能となります。

イーラーニングと SNS が融合した本システムは、学校などの教育機関や通信教育などの教育分野においても有効であり、さらには企業からお客様へのアンケートや結果収集/分析にも応用可能であると考えております。ユビテックは、お客様の悩みを解決できる画期的な提案で Web2.0 ソリューション事業を今後も展開してまいります。

# e臨床試験のための Training center の特徴

## 一般的なe-learningの問題点

一般的なe-learningシステムでは特別な強制力がない限り、継続して学習するのは、難しいと思われれます。

いつでも  
どこでも

楽しく

# e臨床試験のための Training center

継続した学習

解決策

本トレーニングセンターでは、利用者が楽しく学習できるよう様々な工夫をしています。

楽しくなければ  
続かない!!



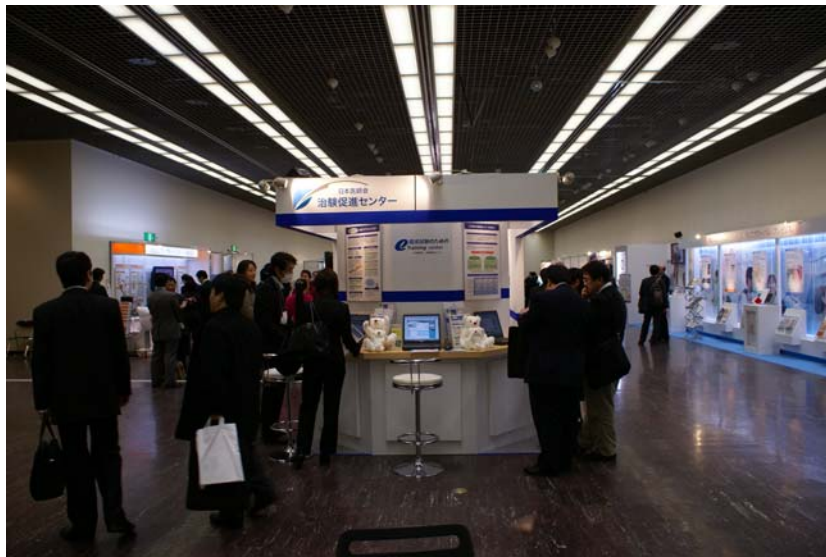
# e臨床試験のための Training center には、多くの機能があります。

このスクリーンショットには、以下のような機能に関する説明が追加されています：

- ランキングポイントなどが表示されます**：学習進捗や成績を視覚的に示すグラフやランキングが提供されます。
- 学習開始はここから**：学習コンテンツへのアクセスが容易に行えます。
- お好みの写真やイラストを登録できます**：ユーザーが学習資料に個人情報を追加できます。
- 正解率グラフ 全問ランキングなどが表示されます**：学習成果を詳細に分析するためのグラフとランキングが提供されます。
- 仲間を登録するとここに表示されます**：学習仲間を登録し、コミュニティに参加できます。
- ユーザーが画像やテキストの添削で参加することもできます**：他のユーザーからのフィードバックを受け取ることができます。
- 最新の情報が自動的に更新されています**：最新の臨床試験情報や教材が自動的に更新されます。
- 他のユーザーが読めた本や文献などを閲覧できます。もちろん、自ら登録もできます。**：共有された文献や資料を閲覧し、自分自身も登録できます。
- どんな人が参加しているのか検索できます。**：参加者の属性や背景を検索して分析できます。

「臨床試験のための eTraining center」は治験促進センターのホームページからご覧いただけます。

<http://www.jmacct.med.or.jp/>



第 28 回日本臨床薬理学会年会の併設展示会場でのデモンストレーション

- \*1 人での有効性や安全性について調べ、国（厚生労働省）から「くすり」として認めてもらうために行われる試験のことを「治験」といいます。  
治験コーディネーター（CRC：Clinical Research Coordinator）とは、医療機関において、治験が円滑に実施できるように支援するスタッフ。主な役割として、「治験の倫理性・科学性の保証」、「被験者の人権・安全の保護」があり、専門的な知識が必要とされます。
- \*2 IRI ユビテックが Web2.0 ソリューション事業展開を開始 ～SBI ホールディングスが「イートレ長者村」に採用～  
2007 年 4 月 23 日発表 (<http://www.ubiteq.co.jp/news/pdf/20070423-e-trade.pdf>)

**【リリースに関するお問い合わせ先】**

担当: 株式会社 ユビテック 管理本部 経営企画課  
電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561

**【製品に関するお問い合わせ先】**

担当: 株式会社 ユビテック ユビキタス事業部  
メール: [ubilab-info@ubiteq.co.jp](mailto:ubilab-info@ubiteq.co.jp)  
電話: 03-5487-5567 FAX: 03-5487-5561